



沖縄にコロナ感染が多いのは・・・



一つの原因は沖縄県経済が観光に頼っていること。Go To トラベルで次々と観光客が押し寄せている。感染を防ぐ為には観光客には来て貰いたくない。しかし、「来ないで」とは云えない。

何故、沖縄県経済は観光に頼るのか。左の図を見て欲しい。産業を興すに最適な土地が米軍に占領されている。

観光に頼る経済

最近一週間の人口百万人当りの感染者数	
2020年8月18日NHK	
1 沖縄県	329.0
2 東京都	130.1
3 福岡県	117.4
4 大阪府	116.2
5 石川県	87.0
6 愛知県	72.6
7 神奈川県	65.1
8 京都府	56.9

沖縄県の新型コロナ感染者者は抜群に多い。

今は、海岸沿いの観光地に観光客を呼び込むしかないのだ。

検疫を通らぬ米兵

世界で最も新型コロナが流行している米国から来ても、米軍は日本の検疫の対象外。日本の検疫無しで基地から自由に外出。沖縄県の米軍の米兵軍属は、人口比で他の都道府県の百倍。つまり、感染窓口が他府県の百倍だ。

こうして基地を押しつけている以上、国は最大限の医療、経済支援を沖縄県にしなければならぬ。

あなたはどうか思われますか？

人口1万人当りの米兵軍属			
(2013~4年のデータ)			
		沖縄県以外	沖縄県
米兵軍属	万人	2.8	3.0
人口	万人	12,566	142
米兵軍属比	人/万人	2.2	211

日曜ジジ通信286号(2016.5.29)

大黒埠頭の緑蔭

神奈川県横浜市鶴見区大黒埠頭

二〇二〇年八月



鶴見から大黒埠頭に向けて車を走らせると、大きな工場ばかり。大黒大橋を渡ると、巨大な倉庫群。無機質な風景が続く。

ところが、そんな無機質な風景のご真ん中に、その名もずばり「大黒埠頭中央公園」がある。

軟式野球場、テニスコート、サッカー等の運動広場があるが、新型コロナの為、すべてお休み。

グラウンドの周りに倉庫群の中とは思えない緑蔭がある。

緑道の左の方は横浜港。海風を受ける側は松林。右側がグラウンドでフェンスが見える。こちら側は広葉樹。タブの木の仲間だろうか。

この所、三四、五度まで気温が上がっているが海上を渡って来る風が緑蔭を吹き抜けるとサワサワと心地よい。

先週は休みました

